

日本茶を愛する若者が描く夢

九州中央自動車道建設促進地方大会

九州中央自動車道（嘉島町一延岡市、約95*）の建設促進地方大会が8月28日、高千穂町で開催されました。大会には、熊本、宮崎両県の沿線首長や住民ら約600人が参加しました。ここでは、熊本県側代表として、野口大樹さん（田代）が意見発表をした等身大の想いをお伝えします。



私は、熊本県のほぼ中央にある御船町吉無田高原で日本茶の栽培、製造、販売を行っています。

吉無田高原は、先人たちが植林を行い、湧き出てきた名水の吉無田水源もあります。はつきりとした四季と豊かな自然環境が日本茶の栽培に大きく貢献し、香り高く濃厚な味の茶が生産されています。ぜひ、飲んでいただきたい逸品です。

そんな吉無田高原ですが、車で約10分の場所に九州中央自動車道のインターチェンジができます。山道しかなかった田舎が、九州の大動脈にリンクできることは、無限大の可能性を秘めたチャンスを与えてくれます。

御船町山間地区の農業や景観に大きな役割を果たしている茶業ですが、食の欧米化や競合飲料の出現により、需要を大きく減らしています。出荷時期が遅い私の地区では、市場価格を上げることができず、茶業の継続さえ危ぶまれるところまできています。

当社では、創業者である祖父の代から、市場に頼らず「自分で作ったものは自分で直接

消費者に売る」という6次化スタイルで経営を行ってきたお蔭で、その影響は少ないと思われていたが、難しい舵取りを強いられています。

そのような中、立ち止まるわけにはいかないし、私には夢があります。「日本茶のテーマパーク」を吉無田高原に造ることです。日本茶低迷の理由に、「そもそも日本茶に興味がないし、気にしていない」という消費者の根本的な心理にあるのではないかと考えています。

そこで、茶畑、工場、店舗を集約したテーマパークを造り、手摘み体験や手揉み体験、日本茶カフェ、農家民宿などを行い、日本茶や地域農業を味わうことのできる「吉無田版体験型農業」を組み立てたいのです。日本茶がある生活スタイルを提案し、茶葉の購入につなげていきたいと思っています。

また、生産者と消費者が直接触れ合うことで、強い関係が構築され、強い顧客が作れると思います。さらには、地域の茶農家を巻き込みながらの展開や雇用、新たな産業やビジネスモデルが作られていくと考えられます。まだまだ深掘し洗練された戦略が必要ですが、夢を実現するためにも九州中央自動車道の開通は大きなチャンスと期待し、逃したくありません。

ターゲットの層や範囲の幅が広がり、大都市福岡をはじめ、九州各県とは直結します。福岡空港を利用する海外からの渡航者などもターゲットになってきます。逆に、こちらから仕掛けていくときにも幅が広がります。道が一本つながるだけで、「人」「モノ」「お金」「情報」の流れが生まれ変わります。これほどの大きなチャンスがほかにあるでしょうか。

私は、九州中央自動車道に夢を乗せ、そして実現し、国や地域に貢献していきたいと思っています。

インターチェンジの開通は無限大の可能性とチャンス 夢は「日本茶テーマパーク」 吉無田版体験型農業を提案

熊本県側代表

のぐち だいき
野口 大樹 さん

● Profile
お茶乃のぐち3代目代表取締役。日本茶インストラクター資格を取得し、南九州代表で全国大会に出場するなど、御船を代表する若き茶農家。座右の銘は、一葉一会。国代地区在住。31歳



今年も挑戦するまる。 ゆるきゃらの頂点へ。 応援よろしくまる！



昨年のゆるキャラ®グランプリ2014で、87位（1669体出場）の成績を残したふねまる。今年も、昨年の順位を越える成績を目指し、ゆるキャラ®グランプリに挑戦します。

1日1票。皆さまの応援（投票）をお願いします。

投票期限 **11月16日** 18時

投票方法

1. ゆるキャラグランプリのサイトにアクセス
2. メニューの「投票はこちら」をクリック
3. 熊本県→ふねまるをクリック
4. 初回は投票に必要なIDを登録。
2回目以降は、メールアドレスとパスワードを入力し「投票する」をクリックする。
5. 終了。

図・商工観光課商工観光係

☎282-1226

